

喜多方市農業委員会委員候補者の推薦・応募結果

募集期間：令和8年8月18日～9月11日

1 推薦による応募（個人又は法人・団体推薦）

被推薦者							推薦者										農地利用最 適化推進委 員への応募 の有無
受付 番号	氏名	性 別	年 齢	職業	経歴	農業経営の 概況	認定農業 者等該当 の有無	推薦者氏名又 は団体名	個人推薦			法人・団体推薦			推薦理由		
									性 別	年 齢	職 業	代表者 氏名	構成 員数	目的		構成員たる資格等	
1	庄司 英喜	男	79	農業	平成18年7月 広木商事㈱取締役総務部長退職 平成29年6月 ㈱COCKPIT121取締役会長退任 2021/2022年度 喜多方ロータリークラブ会長 令和2年12月～現在 吉志田集落人・農地プラン代表 令和3年1月～令和7年1月 会津北部土地改良区理事 令和7年1月～現在 会津北部土地改良区副理事長、用排水維持管理委員長 令和6年1月～現在 喜多方市農業委員	経営面積3.1ha (田2.6ha 畑0.5ha) 水稻 農業従事日数250日	無	喜多方市土地改良区連絡協議会	-	-	-	会長 山田義人	7団体	農業生産の基盤の整備及び開発を促進し、農業の生産性の向上、農業総生産の増大、農業生産の選択的拡大及び農業構造の改善に資するため、関係を有する土地改良区が相互の連携を深め、地域農業の振興を図ることを目的とする。	喜多方市の行政区域内に受益を持つ土地改良区の理事長及び職員7団体14名 雄国山麓土地改良区 駒形土地改良区 山都町土地改良区 高郷土地改良区 小田高原土地改良区 阿賀川土地改良区 会津北部土地改良区	平成29年まで民間会社を経営、現在は農業に従事。農業振興に積極的に参画し、人・農地プラン作成の代表として地域のまとめ役になった。令和6年に市農業委員に就任、土地所有者や耕作者の意見に耳を傾け地域計画策定に携わり、耕作放棄地の未然防止のため所有者不在農地の解消に向けた取組を推進するなど、各方面で厚い信頼を得ている。 令和3年1月に会津北部土地改良区理事に就任、未収賦課金解消と組織運営の改善に努め、令和7年1月には副理事長に就任、国営かんがい排水事業による基幹的施設の長寿命化対策を推進した。 農業、会社経営、市農業委員、土地改良区理事として幅広い経験と知見を有し適任であるため推薦する。	無
2	大塚 久孝	男	69	農業	昭和52年4月～平成3年3月 (有)大成測量設計社 平成3年4月～平成16年3月 ㈱丸正 平成16年4月～平成29年3月 ㈱鈴木総業 平成18年 譲屋行政農業実行組合長 平成27年 譲屋行政区長 現在 農業	水稻1.56ha 農業従事日数180日	無	上三宮農事組合長会議	-	-	-	渡部義真	10人	各行政区の農事組合長の話し合いの場として連携を図ることを目的とする。	各行政区の農事組合長、JAの協力組織であるとともに、各行政区の農事に関する事柄を中心に行う。	行政区長として、また環境保全会の役員として積極的に活動し地域の人たちの信頼が厚い。農業に対し造詣も深く、幅広い視点から農業を捉え、農業委員会活動に取り組むことが期待できるため。	無
3	小林 千代松	男	71	農業	昭和48年5月～平成26年12月 喜多方軽金属㈱ 平成22年4月～平成23年3月 下柴行政区長 平成27年～現在：農業 令和3年1月～現在：農業委員	水稻3.3ha 自家用野菜28a 農業従事日数200日	無	遠藤 幹雄	男	66	農業	-	-	-	-	温厚で誠実な人柄から人望が厚く地域の農家の方々から多大な信頼を寄せられています。また、周囲の意見に耳を傾け地域の農業問題や耕作放棄地対策に我がこととし取り組む高い志を持っている方であり、3期目もぜひ活動してほしいと思うため推薦する。	無
4	渡部 信夫	男	66	農業	平成10年12月～平成30年12月 農業法人役員 平成19年5月～平成30年9月 喜多方市議会議員 平成30年10月～令和元年11月 福島県議会議員 令和4年8月～現在 農事組合法人役員 令和6年1月～現在 喜多方市農業委員 令和8年4月～現在 会津北部土地改良区ノノ堰頭首工水利委員長	農業法人構成員として 水稻62ha ソバ10ha 農事組合法人として ソバ2ha収穫受託作業280ha 農業従事日数200日 本人、農事組合法人ともに認定農業者	有	豊川町区長会	-	-	-	慶徳 忠弥	13	喜多方市豊川町各行政区長が豊川公民館を拠点に、まちづくりに寄与するとともに、町民福祉の向上のため構成員が協力して各種事業を主催、支援することを目的とする。	各行政区長	候補者は30歳代から地域の農業経営者とともに米の共同直販団体を組織し、喜多方米広販に携わってきた。この団体を中核に、喜多方地区でソバ、大豆等の収穫作業を受託している団体を統合し、令和4年に福島県農業会議の支援を受けて、農事組合法人を設立し役員に就任した。 また、農業法人大和川ファームの相談役として、豊川に設置した穀物乾燥調製施設を拠点として経営の合理化を行うとともに、近隣農家の施設利用も進め、地区の農地集積にも貢献し、候補者の斡旋により農地中間管理機構を通じた利用権設定が進んでいます。これら活動により候補者は農地転用や経営移譲等の農地法に関する行政手続きに精通していることから、令和6年1月に農業委員会委員に就任した。 候補者は、農業委員会委員の現職として地域の方々からの信頼も厚く、広範囲な地区の農業者との親交があり、引き続き農業委員会委員として地域農業発展のため貢献できると考え推薦する。	無

2 本人による応募

受付 番号	氏名	性 別	年 齢	職 業	経 歴	農 業 経 営 の 概 況	応 募 の 理 由	農 業 委 員 へ の 応 募 の 有 無
1	横山 敏光	男	75	農業	昭和48年3月駒澤大学経済学部卒業 昭和55年7月家事都合で東京新聞退職 以後兼業農家の傍ら(株)会津魁新聞社編集長、(株)財界二十一常務取締役などを歴任。平成22年専業農家として特別栽培米に取り組む。 平成14年4月～15年3月下利根川行政区長 平成24年1月～27年1月喜多方市農業委員（広報委員長） 平成26年4月～下利根川農村環境を守る会副会長（現会長） 令和3年1月～会津北部土地改良区理事（2期目・現総務理事） 令和6年1月～喜多方市農業委員（2期目）現在に至る	水稻 2.5ha 農業従事日数 230日	農地の集積を図る大規模農家の育成は一定の進展を見せているが、それは担い手の高齢化対策、つまり若手後継者の確保・育成につながってはいない。同時に、立地条件の劣勢な農地が耕作放棄地する可能性が強まっている現在、農村社会の維持を目指す「集落ビジョン」は、極めて脆弱な基盤にあるといえる。 後継者育成などは集落単独では困難で、入り作者や周辺集落と連携した広域的な取り組みが必要であるとして取り組み、その感を強くした3年間だった。 今後も、耕作放棄地の解消、中小農地の維持を含んだ優良な農村環境保全のために大規模農家とともに兼業農家など中小農家の確保に努めていきたい。	有